

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	23-11
PDCA	主要事業名	水路環境美化事業	部課名	建設部土木課	担当	加古	
					内線	434	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 3 年度 全体事業費等： 26,917 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.03.03.02.55 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 12,700 千円						
	事業概要等	事業概要： 市内一円の市管理水路について、快適な住環境の創出と浸水被害防止のため、除草委託および雑草防止対策を実施する。					
		事業目的： 市内一円の市管理水路について、快適な住環境の創出と安全性の確保					
		事業内容： 水路用地における草刈りと雑草防止対策を行う。					
		問題点・課題等： 施工時期の調整					
	予算額	主要事業とする理由					
	26,917 千円	排水機能としての適切な維持管理をするとともに、快適な住環境を創出するため、除草及び雑草防止対策を実施する必要がある。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができます。					
	26,917 千円	目標値や目指すべき状態					
	国費	令和元年度 令和2年度 令和3年度 単位					
	0 千円	防草対策箇所数					
	県費	実績値 6.0 4.0 - 箇所					
	0 千円	目標値 10.0 3.0 9.0 箇所					
	その他	実績値 目標値					
0 千円	目標値						
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					
	22,899 千円	水路用地の除草対策を行ったことで、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。					
		成果指標					
		令和3年度 単位					
		防草対策箇所数					
		実績値 9.0 箇所					
		目標値 9.0 箇所					
C 課題の整理	事業の評価・課題	B					
		市内一円の水路用地について、定期的な樹木等管理委託4件と9箇所の防草対策を行い、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。また、防草対策実施後は、草の繁茂が再発しないよう経過観察及び端部箇所等のメンテナンスを行い、防草効果を継続させる必要がある。					
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進					
		道路パトロールや住民要望等により、新たに除草が必要な箇所が確認された場合は、緊急性や必要性を踏まえ対策の可否を判断し、計画的に対策を実施する。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
③休廃止の影響		大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	-	

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）